

組織現勢 (10月1日現在)

組合員数	19,657人
出資口数	149,984口
8・9月の新規加入	15人
8・9月の増資口数	584口

No. 439



発行所
城南保健生活協同組合
 本部事務局 大田区大森東4-6-15-101
 TEL (3762) 0266
 振込銀行 さわやか信用金庫大森支店
 口座 (普) 0469459
 発行 「城南の保健」編集委員会
 年6回発行・定価1部 30円

秋の強化月間 スタート!

10月1日~12月28日

月間の目標

- ① 城南保健生協の組合員を460人増やします
- ② 1,000万円の増資を集めます
- ③ 「いつでも元気」誌(あなたと民医連をつなぐ月刊誌)30人の新規購読者を増やします

城南3法人秋の強化月間学習会

今年度初めての取り組みとなる、月間成功のための学習会をオンラインで開催。「月間ってなに?」「共同組織とは?」

第1回

城南保健生協理事
組織委員長 **橘内信一**

保健生協発足の初代専務理事は石向石雄さんで、名前も固いが意思も固い人でした。就任する前は、渡辺製鋼所の労働組合の副委員長で、私は執行委員(青年部長)をやっていました。保健生協とのかわりは、理事になったこと、渡辺製鋼所での職場班会です。毎月、血圧測定や尿チェックを行い、栄養士のお話や歯科衛生士による歯の磨き方、チェックポイントなど歯のスライド説明に、歯を大事にしないと将来大変なことになると気づき、作業着の胸のポケットに歯ブラシを入れて、昼



現在の大田病院正面入り口

1947年7月「自分たちの診療所を持つ」という地域の人たちの切実な要求にこえ、大森東4丁目にあった日本教員株式会社から大田病院が誕生。日本教員の労働組合と民主的経営スタッフが中心となって開設したが、大田病院の前身

1968年、大田病院は3度目の倒産危機に見舞われました。東京民医連で大田病院支援のた

1977年11月、大田病院の「友の会」(ゆたか病院(現ゆたか診療所)の「友の会」が発展的解散して保健生協が誕生しました。「患者」ではない地域のひとびとによる健康づくりを目的にした、医療機関を持たない全国で唯一の医療生協として「健康で安心して住み続けられるまちづくり」を基本に、大田区・品川区を中心に1000世帯でスタートしました。

以前の城南保健生協は汚い、迷路、段差があるなどいい環境ではありませんでしたが、地域の皆さんに喜ばれる動きやすい病院に大きく変わりました。また、資金面では保健生協組合員などの協力により、大きな財政支援を得て完成しました。

「城南保健生協とは?」「地域の方々の思いって?」...全5回で生協組合員と3法人の各専務がお話ししてくれました。

1949年8月、日本教員診療所が独立し大田診療所が開設されました。瓦葺にトタンを重ねた屋根のある古い建物で、診療所には見えず、木札看板で診療所と判別できるものでした。

毎月理事会前に蒲田駅東口で宣伝行動

大田病院と保健生協は「車の両輪」の「共同組織」として運動を進めています。

大田病院が地域の方々や保健生協組合員の協力の下、建設委員会を立ち上げさまざまな要望を取り入れて完成しました。

日本教員診療所と大田診療所の開設

地域のさまざま

「学習会」...医療のこと、介護のこと、さまざまな制度のことなど、学習会はさまざまな地域で行っています。「城南の保健」でお知らせしています。

城南保健生協設立

病院・診療所建設

今年も秋の強化月間がスタートしました。保健生協(医療生協)は、地域の方々といっしょに「健康づくり」を行う組織です。ぜひ、この機会にご家族、お友だちなどで城南保健生協に加入していただければ幸いです。加入をすすめていただきますようお願いいたします。

「班会」...地域の方、お友だちが3人以上集まれば「班会」といって、健康チェックや学習会が無料で行えます。私たちは医療や介護の専門家集団です。ぜひ気軽に講師依頼をしてください。

「よろず相談」...困ったことが起こったら、「よろず相談」をご利用ください。土日休日を除き毎日無料で行っています。弁護士相談や成年後見専門相談も無料で行っています。

1977年11月、大田病院の「友の会」(ゆたか病院(現ゆたか診療所)の「友の会」が発展的解散して保健生協が誕生しました。「患者」ではない地域のひとびとによる健康づくりを目的にした、医療機関を持たない全国で唯一の医療生協として「健康で安心して住み続けられるまちづくり」を基本に、大田区・品川区を中心に1000世帯でスタートしました。

以前の城南保健生協は汚い、迷路、段差があるなどいい環境ではありませんでしたが、地域の皆さんに喜ばれる動きやすい病院に大きく変わりました。また、資金面では保健生協組合員などの協力により、大きな財政支援を得て完成しました。

「学習会」...医療のこと、介護のこと、さまざまな制度のことなど、学習会はさまざまな地域で行っています。「城南の保健」でお知らせしています。

「よろず相談」...困ったことが起こったら、「よろず相談」をご利用ください。土日休日を除き毎日無料で行っています。弁護士相談や成年後見専門相談も無料で行っています。

1977年11月、大田病院の「友の会」(ゆたか病院(現ゆたか診療所)の「友の会」が発展的解散して保健生協が誕生しました。「患者」ではない地域のひとびとによる健康づくりを目的にした、医療機関を持たない全国で唯一の医療生協として「健康で安心して住み続けられるまちづくり」を基本に、大田区・品川区を中心に1000世帯でスタートしました。

以前の城南保健生協は汚い、迷路、段差があるなどいい環境ではありませんでしたが、地域の皆さんに喜ばれる動きやすい病院に大きく変わりました。また、資金面では保健生協組合員などの協力により、大きな財政支援を得て完成しました。

以前の城南保健生協は汚い、迷路、段差があるなどいい環境ではありませんでしたが、地域の皆さんに喜ばれる動きやすい病院に大きく変わりました。また、資金面では保健生協組合員などの協力により、大きな財政支援を得て完成しました。

年の初めにみんなでハイキング!!
「新春東高根森林公園ハイキング」
 毎年1月初めの人気企画「新春ハイキング」。今回は川崎市のJR南武線宿河原駅から閑静な住宅街を抜けて東高根森林公園をめざします。公園内は自然豊かで地元の人たちのハイキングコースにもよく使われているとのこと。ご参加お待ちしております(6時で約2時間半を予定)。新型コロナウイルス感染症拡大状況によっては中止となる場合があります。

JR南武線宿河原駅→常照寺→鎮守八幡宮→天台宗妙楽寺→東高根森林公園→JR南武線久地駅

日時: **1月8日(日) 午前9時集合** (12時00分解散予定)
 集合場所: **JR南武線宿河原駅改札前** (注:各駅停車のみ停車) (グリーン)の生協旗が目印です) *小雨決行
 参加費: **500円** (資料代)
 参加申込・お問い合わせは生協本部 伊藤まで (03-3762-0266)。

